川内川水系水害に強い地域づくりの概要【情報治水(ソフト対策)】

洪水からの被害を最小限にするためには、築堤、河道掘削等のハード対策の推進と併せて、地域防災力の 向上や防災情報提供の効率化等のソフト対策を行う必要があります。そこで川内川河川事務所では、平成19 年8月に「川内川水系水害に強い地域づくり委員会」の提言を受け、自助・共助・公助の観点に沿って、国、 県、市、町や地域の連携のあり方、活動の具体案となるアクションプログラムを策定中です。

平成20年度中に全てのアクションプログラムを策定予定であり、実施可能なものから着手しています。国、 県、市町等関係機関が各々の役割のもと、一体となり流域の情報治水(ソフト対策)を推進していきます。

<u>アクションプログラム作成のスケジュール(案)</u> H20年度 H21年度 H22年度 基本方針 具体的施策 10月 10月 10月 1 洪水ハザードマップの作成支援 2 避難計画・施策の再検討 避難計画の 3 災害時要援護者の避難対策の立案 4 水害時住民行動マニュアルの作成 5 地域孤立化防止対策の検討 6 水害危険性の認識向上・防災用語等の習得 ク 7 浸水地区の土地利用規制等の検討 水害の危険性に 8 浸水に強い建築構造導入の検討 3 関する認識向上 河川沿川における従前の プ 遊水機能確保に関する対策の検討 10 わかりやすく精度の高い情報提供 情報提供• 11 地区コミュニティの活用 伝達機能の 向上 12 水防情報の一元化 13 避難準備情報・勧告・指示の の 避難準備情報・勧 発令基準の再検討 実 14 収集情報の発令判断への活用 施 15 水防資機材の備蓄・効率的活用 16 重要水防箇所の情報提供 水防・救助体制のボランティアの受け入れ体制、ボランティアの受け入れ体制、 業界団体との協力体制の確立 18 消防団等との連携による 各家庭での浸水軽減活動 幹幹 協委 会議の設置 主な出来事

注1) は着手済みの施策

注2)推進協議会を「協」、幹事会を「幹」、委員会への報告を「委」と表現している。

レーダー雨量、河川の水位やダム情報、また、発表中の洪水予報などの情報が得られます。

●携帯電話から手軽に

· 川内川河川事務所 防災情報 携帯版 http://www.gsr.mlit.go.jp/sendai/bousai/keitai/ index.htm

●パソコンから少し詳しく

- ·川内川河川事務所 防災情報 PC版 http://www.qsr.mlit.go.jp/sendai/bousai/index.html
- ・国土交通省 川の防災情報 http://www.river.go.jp
- ・国土交通省 防災情報提供センター http://bosaijoho.go.jp
- ・気象庁 http://www.jma.go.jp

●音声電話から現在の水位を

- ・全水位観測所をひととおり聞く 20-3890
- ・地域から選んで知りたい観測所のみ聞く

荒 田 22-8265 久見崎 20-3891 川内 湯之尾 22-8274 20-3892 斧 渕 22-8222 栗野橋 22-8276 倉野橋 22-8226 吉 松 22-8279 宮之城 22-8242 真 幸 22-8281 湯田 22-8245 上真幸 22-8286 鈴之瀬 22-8259 飯 野 22-8291 花 北 22-8260

※市外局番:0996

【国土交通省・鹿児島県・宮崎県・薩摩川内市・さつま町・伊佐市・湧水町・えびの市】 「川内川激特レポート」についてのご意見、お問い合わせ先は

国土交通省 九州地方整備局 川内川河川事務所 調査課 〒895-0075 鹿児島県薩摩川内市東大小路町20-2

TEL 0996-22-3271(代) FAX 0996-25-0862 E-mail sendai@gsr.mlit.go.jp

ホームページアドレス http://www.gsr.mlit.go.jp/sendai/index.html



激特事業とは...

洪水や高潮等により大きな被害が発生した地域において、再度災害防止を図るため、概ね5カ年で、様々 な河川改修を緊急に行う事業です。川内川水系では、平成18年7月洪水により甚大な被害を受けたこと から、平成18年10月4日に激特事業に採択され、外水はん濫による家屋浸水被害を解消するため、河 川改修を緊急的に行います。

川内川河川激甚災害対策特別緊急事業の概要【ハード対策】

事業概要

■事業目標

平成18年7月洪水の外水はん濫による家屋 の浸水被害を解消する。

→家屋浸水被害を約1,500戸解消する計画

■採択延長

62. 3km→全国歴代2位

■事業費

約356億円(国:約331億円)

(鹿児島県:約19億円、宮崎県:約6億円を 含む)→九州最大規模

■事業箇所(国施工)

37箇所【川内川沿川3市2町】

■事業量

用地取得面積 約71万m2 約16km 築堤延長 掘削量 約200万m3 水門·樋門等 26箇所

■工期

平成18年度 ~ 平成22年度(5ヵ年間)

進捗状況

■平成18年度

- 事業対象箇所の測量を実施
- ・菱刈地区の河道掘削に着手

■平成19年度

・設計を概ね完了させ、地域への計画説明を実 施後、用地等調査実施

■平成20年度

・地域の理解が得られた箇所より本格的に用地 取得協議・補償を進め、完了した箇所より工事 に着手する

■現在の状況

用地調査:29筒所のうち27筒所の用地等調査 を平成20年3月末で概ね完了

用地取得: 平成20年4月以降地権者との協議を 実施中。29箇所のうち3箇所におい て完了。24地区において協議中 (58%取得済)

工事着手: 平成19年度に5筒所で一部築堤(約 1000m)及び4箇所において河道掘

削(約59万m3)を実施し、菱刈地区、 湯之尾・栗野地区の河道掘削につい ては概ね完了。現在12箇所で事業推

進中

